

Case : 350

移乗の際に、ベッド用グリップに近づきすぎ後方へ転倒しそうになる

場面の説明

移乗時の立位保持の位置がグリップに近づきすぎ、支持基底面が狭くなり、後方重心になったため後方へ転倒しそうになった。



利用シーン	 移乗
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

立位機能の低下した要介護者の場合、グリップとの位置関係で、支持基底面の広さが変わり、立位の安定性が変化します。移乗先のポータブルトイレや車いすの位置が近づくと、両足の間隔が狭くなったり、グリップ寄りになり、不安定になりやすいです。適切な移乗空間を確保できるよう、車いすやポータブルトイレを置く位置は、介護者がわかりやすいようにマーキングしておきましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：立位機能が低下していた
- 人：グリップに接近しすぎて支持基底面が狭くなった
- モノ：移乗先の車いすやポータブルトイレの位置が前方すぎた
- 環境：移乗時の足元スペースがせまくなっていた
- 管理：マーキングできていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 350

移乗の際に、ベッド用グリップに近づきすぎ後方へ転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

移乗時の立位保持の位置がグリップに近づきすぎ、支持基底面が狭くなり、後方重心になったため後方へ転倒しそうになった。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ